



Social medical corporation REIMEIKAI UKI GENERAL HOSPITAL



平成24年度一般社団法人照明学会「照明普及賞」受賞

宇城総合病院広報誌

れいめい

2013
8月
夏号

目次

ともち未来病院紹介	①	「宇城地域栄養懇話会」の紹介 ...	④
感染対策	②	連携室便り	⑤
ヘリポート登録	③	新任医師紹介	⑦
照明普及賞受賞	③	外来診療表	⑦
リハビリ便り	④		



社会医療法人 黎明会

宇城総合病院

■発行／社会医療法人黎明会 宇城総合病院 広報委員会
〒869-0532 熊本県宇城市松橋町久具691
TEL.0964-32-3111 FAX.0964-32-3112
URL <http://www.reimeikai.jp/>

ともち未来病院より

ともち未来病院 病院長 鮎田 和博

ともち未来病院は平成25年4月1日から社会医療法人黎明会ともち未来病院として新しくスタートしました。宇城市松橋町の宇城総合病院と同一法人となりいわば兄弟病院となったわけです。前身の医療法人社団白寿会砥用病院は昭和51年7月10日に開業し、平成12年新病棟の建設を機にともち未来病院と名称を変更しています。これまで白寿会としてこの病院を運営・維持・発展に寄与されてきた大村理事長や猿渡前院長をはじめとする関係各位に敬意を表するとともに大変感謝しております。もちろん職員や地域住民、とりわけ患者さんのおかげでこの病院は成り立ってきたわけですので、これらの皆様にも敬意を表するとともに感謝申し上げます。当院の理念・基本方針は、宇城総合病院と同じで、理念は、誠実な医療を実践し地域に貢献します、であり、基本方針は、地域のニーズに応える、安全な医療の実践、魅力ある職場づくりの3つです。真摯な姿勢で医療を行い、地域に密着した、地域住民のニーズに応えられ、喜んでいただけるような医療機関でありたいと考えています。また職員にとっては働き甲斐のある魅力ある職場であることが、ひいて

は患者さんへのサービスの向上につながることを信じています。

病床数は、医療療養型病床108床で、二つの病棟で運営しております。第一病棟を60床、第二病棟を48床として、よりきめ細やかな看護ができるような体制を取っています。第一病棟の60床の内50床は、3月31日までは介護療養型病床でしたが、法人が変わると同時に医療療養型病床へ転換しています。職員数は平成25年4月1日現在非常勤を含めて約100名で砥用在住者がほとんどを占めており、職員構成からも地域に根差した病院となっています。常勤医師は歯科を含め3名ですが、非常勤医師が6名おり、診療科目に関しては、内科、循環器科、外科、整形外科、皮膚科、眼科、リハビリテーション科、歯科を揃え、それぞれ専門医師の診療を地域住民の皆様にご利用していただいています。新しく私と宇城総合病院から以下の方々が赴任しています。宇城総合病院では総務課長として敏腕を振るわれていた中村幸二事務長、病院事務全般に詳しく豊富な仕事をこなす上村佳史事務主任、また非常勤医として月曜日と金曜日に並川和男先生が、火曜日、木曜日、金曜日に村上幹彦先生

が主に外来診療担当で来ていただいています。そのほかにも、時々になりますが、松本佳子統括看護部長、山下智弘統括リハビリ科長が来られ種々の助言をいただいています。

療養型病床ですので時間をかけた長期間の療養が可能です。急性期病院での治療は終了したかもうしばらくの療養が必要という患者さんに利用していただけます。高齢化社会である現在にもかかわらず急性期病院での入院期間は短縮の一途を辿っています。しかしながら、高齢者にとって急性期病院での治療が終了しても自宅退院は尚早と感じられる患者さんやご家族が多いようです。そういう患者さんに当院での療養をしていただければ幸いです。長期療養の柱となるリハビリテーション科には、現在4人の理学療法士を揃え日・祝日以外の毎日リハビリテーションを行っており、自宅退院や日常生活動作の向上や介助量の軽減などに努めています。また介護予防として合わせて介護リハビリテーションも行い地域住民の介護予防に役立てていただいています。

さんを受け入れるようにしています。このように宇城総合病院とは密に連絡を取り合い急性期から慢性期にかけてのシームレスな療養ができるようにして、患者さんの満足度を上げるように努力しています。

場所は遠いと思われがちですが、宇城市松橋町の宇城総合病院からは車で約30分かかりますが、国道218号線を宮崎方面へ行く一本道です。2〜3度行くと遠さは感じなくなるぐらいの距離です。病院の敷地は、緑川ダムのほとりで、桜の木が数多く植樹されている、脇瀬橋という赤橋と木々の緑とのコントラストが目には鮮やかな風光明媚な場所があり、鳥のさえずりがよく聞こえる大変素晴らしいところに立地しています。ゆつくりと長期療養をするには絶好の場所です。桜の花で春の訪れを知り、夏は深緑が香り、秋は紅葉を愛でることができます。このような類まれな良好な環境の下、当院を数多くの患者さんに利用していただくことを切に願っています。



鳥インフルエンザA(H7N9)へ対応

感染対策室室長 森崎清司

平成24年10月から平成25年3月30日までの6か月にわたる研修を修了し、感染管理認定看護師の資格を取得致しました。

4月初めより中国では鳥インフルエンザの感染が広がり、日本に入ってもおかしくない状況になっていました。そこで鳥インフルエンザA(H7N9)についての情報と当院の対策を紹介いたします。

今回見つかった鳥インフルエンザA(H7N9)は、今までヒトに感

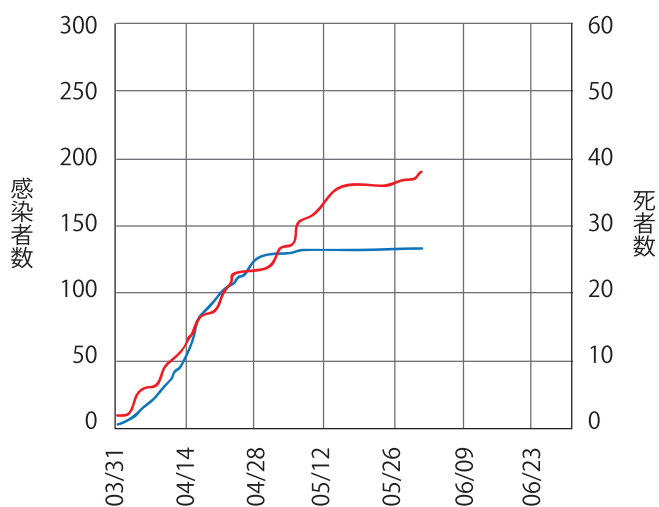
染することが知られていなかったウイルスの感染症です。4月1日にWHO(世界保健機関)が中国でヒトへの感染があったことを初めて公表しました。感染源はまだわかっていませんが、中国政府の調査では、ヒトからヒトへの持続的な感染は確認されていません。しかしウイルスが突然変異することでヒトからヒトへ感染を起こすウイルスになる恐れがあります。

日本政府は4月26日の閣議

中国国内でのH7N9鳥インフル感染状況の推移

3月31日～5月31日まで

— 感染者数(死者含む) — 死者数



出典：H7N9型鳥インフル感染状況グラフ(6/1) (<http://www.rescuenow.net/2013/06/h7n961.html>)

で、鳥インフルエンザA(H7N9)を感染症法に基づく「指定感染症」と、検査法上の「検疫感染症」に指定することを決定し、同日政令を公布し、5月6日に施行となりました。それに伴い、宇城保健所から中国における鳥インフル

エンザA(H7N9)の発生に対応する県の対応状況についてや、鳥インフルエンザA(H7N9)に関する臨床情報などが情報提供され、疑い症例についての診察依頼や、発生時の協力依頼がありました。当院ではアウトブレイク対策チームを作り、疑い症例発生時の対応者の選定や鳥インフルエンザA(H7N9)対応手順をフローチャート化し迅速に対応できるようにしました。また発熱外来で対応するときの個人防護具の確保、連絡網の確認なども行い、いつでも受け入れができるようにしました。当院は2009年の新型インフルエンザ発生時も発熱外来を稼働させ多くの患者を受け入れました。また、2012年11月27日宇城保健所と熊本県健康危機管理課主催による「高病原性鳥インフルエンザ発生時の要



宇城保健所と熊本県健康危機管理課主催による「高病原性鳥インフルエンザ発生時の要観察者移送訓練」の様子
2012年11月27日

観察者移送訓練」を行い新型インフルエンザ等感染症の2類感染症に準ずる患者も受け入れることで宇城地域の中核病院としての役割を担ってきました。その経験をもとに今回も万全の対策をもって対応致しました。感染症対策はインフルエンザだけでなく、さまざまな疾患があり、院内で発生する耐性菌の問題など多岐にわたっています。私も就任したばかりで日々勉強中ですが、感染にかかわる相談も承りますのでお気軽にお声かけください。

当病院のヘリポートが緊急離発着場として 県に登録されました。

当病院は、宇城地域の中核病院として、県から地域災害拠点病院の指定を受けています。昨年9月、現在地への移転を機に、敷地内南側職員駐車場に隣接してヘリポートを整備しました。このヘリポートは災害時のみでなく、救急医療にも活用できるものとなっています。



ドクターヘリ離発着陸訓練・救急患者受入訓練の様子 2013年7月17日

平成24年度「照明普及賞」を受賞

平成25年5月22日、東京・学士会館において一般社団法人照明学会による照明普及賞表彰式が行われ、宇城総合病院が平成24年度「照明普及賞」を受賞致しました。

照明普及賞とは昭和32年創設以来、その年に国内において竣工した優秀な照明施設に贈られる賞で、24年度は全国195団体・法人の応募の中から審査の結果、79団体・法人が受賞致しました。(うち九州地区は8施設、熊本県からは当院のみ)



表彰式には当院を含め58団体・法人が出席し、出席団体・施設ごとに表彰状と楯が授与されました。

賞の選考基準は視環境・照明技法・照明効果などの観点から総合的に審査され、対象となる照明施設は住宅・事務所・店舗・ホールなどの屋内施設から屋外・交通・スポーツ施設まで広範にわたり、その地域を代表する照明施設として評価されました。

リハビリ便り

かねてより外来診察における待ち時間については、時間がかり過ぎるというご意見を頂いております。

そこで、今年5月より、診察待ち時間の短縮を図る為、新たにリハビリ室横に診察室を設けることになりました。

診察時間は午前9時～午前10時、対象は整形疾患、自賠・労災、消炎鎮痛等処置の患者様となります。

以前、リハビリを受ける前に長い時間お待ちいただいていた患者様方には、時間短縮に繋がり、大変喜んでいただいております。

今後も患者様に喜んで頂けるよう、よりよいサービス提供を目指して努力して参ります。



「宇城地域栄養懇話会」の紹介

この会は、「宇城地域における栄養学に関する診断、治療の進歩及び地域におけるチーム医療の推進を図る」ことを目的とし、当院院長である江上寛先生の呼びかけで昨年発足致しました。世話人には、宇城地域の病院、施設より11名の先生方が御協力下さることになり、ともし未来病院の院長でいらっしゃる鮎田和博先生を始め医師4名、看護師4名、管理栄養士2名、理学療法士1名で会の運営を行うこととなりました。

第1回は、昨年4月に不知火町中央公民館にて開催、「栄養管理の重要性～震災を経験して～」という題で元福島労災病院管理栄養士の田村佳奈美先生が講演されました。震災時の生の声を栄養管理の側面からお話して下さり、とても有意義な会となりました。2回目は、昨年10月にウイングまつばせ視聴覚室にて開催、「栄養療法を考える」と題し6題の発表がありました。参加者は111名で地域の先生方の栄養への関心度を窺い知ることができました。

そして、今年4月19日（金）、場所を当院地下大会議室に移し第3回目を開催しました。院内外から165名の参加があり会場は満杯、熱気に包まれました。特別講演には京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 専門理学療法士の山田実先生をお招きし「サルコペニアに対する運動・栄養の包括的アプローチ」と題してお話頂きました。最近テレビ、雑誌等で見聞きするサルコペニア（筋肉減少症）ですが、皆さんとても勉強になったと好評でした。

次回は10月に開催致します。各施設からの栄養治療に関する症例を報告していただく予定です。たくさんの応募お待ちしております。



第3回宇城地域栄養懇話会の様子

連携室便り

やすらぎ 第二十九号

今回から「やすらぎ」は「れいめい」に掲載されることになりました。今回、初めて医療福祉相談室（地域医療連携室）の存在を知る方もいらっしゃるかもしれません。そのため、私たちが行っている業務を紹介したいと思います。

病気や障害を負うと、今までになかった心配事が生じる可能性があります。医療福祉相談室（地域医療連携室）には医療ソーシャルワーカーが従事し、患者さんやご家族の抱える様々な課題のご相談に応じています。また、地域の医療機関・介護施設等との連携に関する業務も行っています。その中でも、相談が多いのは「入院して元のような生活が送れなくなったので、退院後はどうしたらいいのか」という悩みです。そこで、知っておくと便利な「介護保険」について紹介したいと思います。

介護保険

介護保険は、市町村が運営し、四十歳以上の全員が加入者（被保険者）として

保険料を納めます。介護が必要になったときにサービスが利用できるだけでなく、できるかぎり介護状態にならないように「介護予防」にも重点を置いたしくみです。

利用できるサービスは大きく別けると、在宅でのサービスと施設でのサービスになります。在宅でのサービスには、自宅から施設へ通うことや、自宅へ来てもらうこと、または、自宅の改修や福祉用具の購入やレンタルもあります。施設でのサービスとは、入所して介護を受けることです。原則として費用の1割でご利用いただけます。

サービスを利用するまでの流れについては左ページの図1をご覧ください。

今回説明したのは一部にすぎませんので、詳細については、またはその他の相談がございましたら、遠慮なく下記までご連絡ください。



●相談をご希望の方へ●

担当医や看護師に申し出ていただくか、直接医療福祉相談室（地域医療連携室）にお越しください。

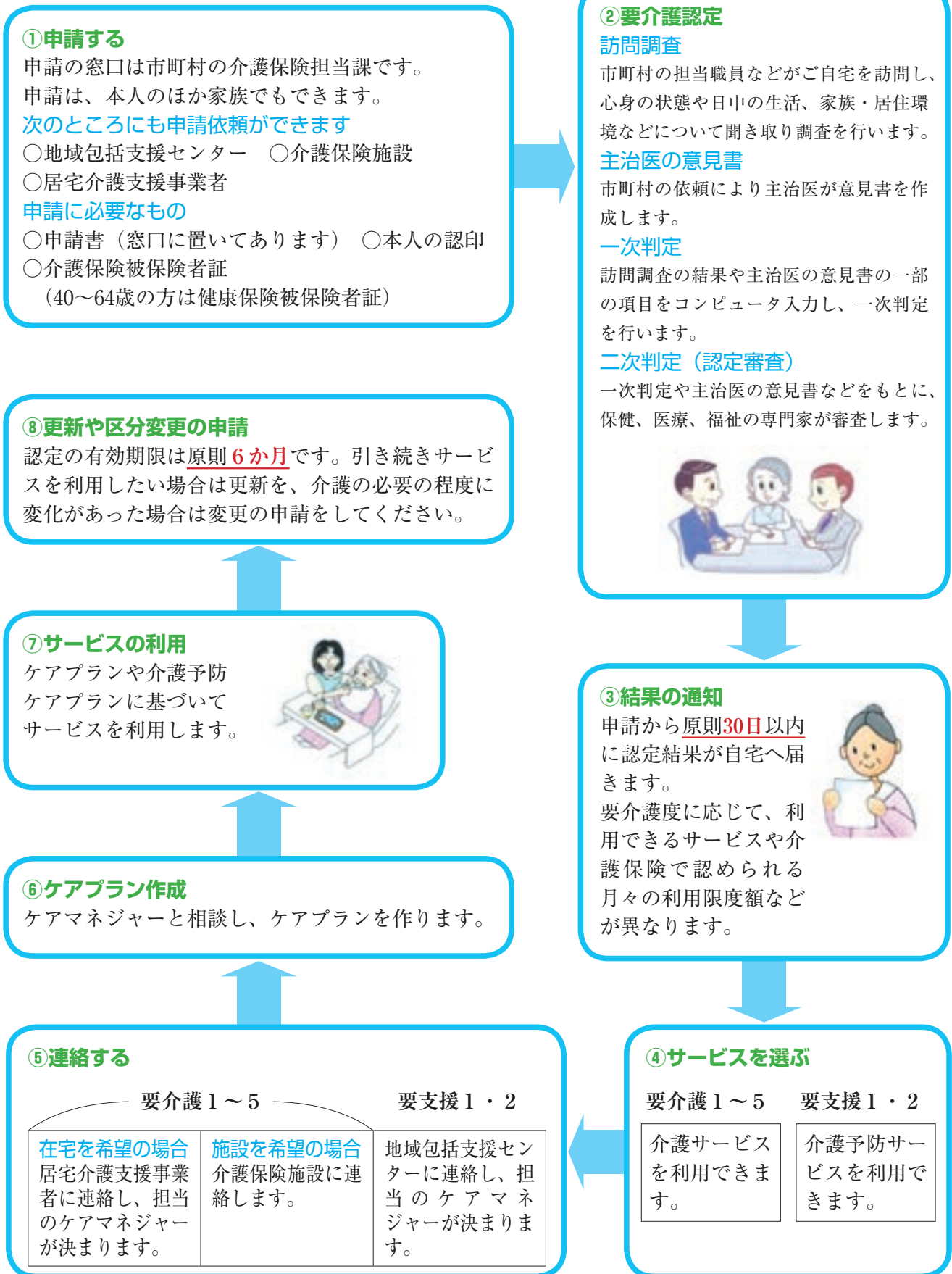
* 事前に電話などで面接のご予約をしていただくことも出来ます。
また、電話でのご相談もお受けいたします。

医療福祉相談室（地域医療連携室）

○時間 / 月曜日～土曜日 8:30～17:30

○場所 / 1階（外来30番受付斜め前）

○電話 / 0964-32-3218（直通） 0964-32-3111（代表）



新任医師紹介



循環器内科
神波やよい

早いもので私が宇城総合病院に入職してから4ヶ月が経ちました。お会いできていない方も多いかと思いますが、簡単ですが改めて自己紹介をさせて頂きたいと思います。

まず、見慣れない名字かと思いますが「こうなみ」と読みます。読み方が分からないと言われることは日常茶飯事なので気にされないで下さい。由来は長野の方と聞いていますが、数は多くはないそうです。

私は生まれも育ちも東京です。今年の2月に結婚し、今年度から夫の勤務先が済生会熊本病院となったため、一緒に越してきました。医師としては6年目にあたり、出身大学は東京女子医科大学で、2年の初期研修を経て、3年目より同大学の循環器科医局へ入局しました。私は循環器科としてもまだ経験が浅く未熟な点も多いですが、自分の出来る限りは専門科として皆様のお役に立てるよう努めていきたいと思えます。またこれまでより内科全般をみる場面が増え、自分としても一般内科の勉強に励んでいこうと思っています。

どうぞよろしくお願い致します。

◆外来診療医師一覧表◆

平成25年6月1日～

診療科		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
外科	診療担当医	栗崎 貴 (消化器外科)	江上 寛 (消化器外科)	松田 貞士 (消化器外科)	栗崎 貴 (消化器外科)	前田 健晴 (消化器外科)	担当医 (AM)
	午後	手術・救急対応					
整形外科	診療担当医	山城 和馬 (整形外科)	井 賢治 (整形・ペインクリニック)	大多和 聡 (整形外科)	藤枝浩司(非常勤) (整形外科)	赤城 哲哉 (整形外科)	救急対応
	午後	手術・救急対応					
リハビリ科	診療担当医	江上 寛 (消化器外科)	赤城 哲哉 (整形外科)	中野 章 (外科)	赤城 哲哉 (整形外科)	中野 章 (外科)	
	午後	病棟回診・救急対応					
内科	診療担当医	中村 亮斉 (循環器内科)	福田 秀明 (呼吸器内科)	中村 亮斉 (循環器内科)	米良 昭彦 (呼吸器内科)	小山田 直朗 (消化器内科)	担当医 (AM)
	午後	米良 昭彦 (呼吸器内科)	盛 三千孝 (内科)	小山田 直朗 (消化器内科)	采田 憲昭 (消化器内科)	福田 秀明 (呼吸器内科)	
神経内科	診療担当医			平原智雄(非常勤)			救急対応
循環器内科	診療担当医	神波 やよい (循環器内科)			上村智明(非常勤)	泉家康宏(非常勤)	
糖尿病センター	診療担当医	竹田 晴生 (代謝内科)	竹田 晴生 (代謝内科)	竹田 晴生 (代謝内科)	竹田 晴生 (代謝内科)	竹田 晴生 (代謝内科)	
小児科	診療担当医	AM 板井 義男	村上 幹彦	板井 義男	板井 義男	村上 幹彦	
	PM	板井 義男	板井 義男	板井 義男	板井 義男	板井 義男	
泌尿器科	診療担当医	中村 武利					
内視鏡検査担当医	AM	松田貞士・小山田直朗	前田健晴・小山田直朗	栗崎 貴・前田健晴	松田貞士・前田健晴	栗崎 貴・松田貞士	
	PM	松田貞士・前田健晴	小山田直朗	采田憲昭	松田貞士	前田健晴	
放射線科	読影担当医	前田 陽夫	前田 陽夫	前田 陽夫	前田 陽夫	前田 陽夫	
健診センター	診療担当医	AM 采田憲昭(予約制)	采田憲昭(予約制)	采田憲昭(予約制)	采田憲昭(予約制)		
リハビリテーション	AM	《受付時間》 9:00～11:30					
	PM	13:30～15:30					
腎・透析センター	透析担当医	～15時 盛 三千孝	中村 武利	盛 三千孝	盛 三千孝	中村 武利	盛三千孝 又は中村武利
		15時～ 盛 三千孝		盛 三千孝		中村 武利	

受付時間 【平日】 8:30～12:00 (但し、泌尿器科11:30まで、整形外科11:30まで) 【土・日・祝日】 救急対応
 (小児科夕診) 受付時間 月曜～金曜 14:30～16:30

宇城総合病院理念

誠実な医療を実践し地域に貢献します

基本方針

- ・地域のニーズに応える
- ・安全な医療の実践
- ・魅力ある職場づくり